

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 東谷 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校3年生は、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、英語）の結果

本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	10.3	69	7.3	49	6.8	40
全国	10.5	70	7.6	51	7.7	45

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	○全体的にどの分野においても、全国や県平均を上回っており、正答率についても高い結果である。 ○無回答率については、極めて低い。
	よくできた問題	○目的に沿って自分の考えをまとめる問題 ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いになおす問題
	努力が必要な問題	○文脈に即して漢字を正しく書くことができる ○具体と抽象など情報と情報との関係を明確にする問題

数学	全体的な傾向や特徴など	○全体的にやや県・全国どちらも平均を上回っていますが、総じて同程度の結果となっている。 ○無回答はないが、選択式の正答率がやや低い。
	よくできた問題	○文字式の計算の問題○問題場面における考察の対象を明確にとらえることができるかどうかを見る問題
	努力が必要な問題	○関数の問題

英語	全体的な傾向や特徴など	○無回答率が極めて低く、全体的に全国や県平均を上回っている。
	よくできた問題	聞くことと、読むことについてはどの問題においてもよい結果を収めている。
	努力が必要な問題	書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く問題については、意見はかけたが、理由を書けないなどの結果があり、考えたことを英語で表現することに努力が必要だと考えられる。

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○「朝食を毎日食べている」と肯定的に答えた生徒の割合は100%であった。</p> <p>○「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標を持っている」ことに肯定的に答えた生徒の割合は、全国や県に比べると高かった。</p> <p>○「普段の授業以外での読書時間」は10～30分の短時間を含めるとほとんどの生徒が読書をしていた。</p> <p>○「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」や「各教科で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行った」ことに肯定的に答えた生徒の割合は、全国や県に比べると高かった。</p> <p>○国語については、好きで勉強は大切だと答えた生徒が多かったが、英語・数学についてはやや少なかった。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

○基礎学力向上のために本校独自の基礎学力確認テスト「これテス」の取組をより充実させる。
○学力向上部会を定期的実施することを継続し、組織的に授業改善を進めていくと同時にICTの活用をさらに推進する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○各教科での取組に加え本校独自の基礎学力確認テスト「これテス」のための、家庭学習用の「毎日の課題」を課し、点検することで家庭での学習習慣の定着を図る。
○学校だより・学級だよりや保護者懇談会等で家庭学習習慣の定着の啓発を行う。